

令和6年 1 月 17 日

石岡市長 谷 島 洋 司 殿

石岡市協働のまちづくり推進委員会
委員長 茨 木 泰 貴

協働のまちづくりの推進に係る提言について

第4期石岡市協働のまちづくり推進委員会におきまして、「持続可能な地域コミュニティの在り方について」をテーマに調査・審議された意見等について、石岡市協働のまちづくり条例第11条第2項に基づき、下記のとおり提言いたします。

持続可能な地域コミュニティのまちが実現できるよう、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

1. コミュニティの新しい拠点づくりのために

- ・ 公民館における市民主体の新しい組織づくり

民間活力の利用、飲食を可能とする等、公民館がコミュニティ拠点になるような組織づくりを実施いただきたい。

- ・ 市民が楽しく集えるために、世代間ギャップを埋める市民講座の開催

昔の教育と今の教育では全く異なる教育であるため、高齢者から子供まで相互理解を図れるよう人材育成の観点からも市民講座を開催いただきたい。

- ・ 施設予約の DX 化

公民館等の貸出しについても、ネット予約ができるように使いやすくなるよう整備いただきたい。

2. 市民がコミュニティ活動に参加しやすくするために

- ・ 市民の健康維持と地域の清掃を兼ねて「エンゼルパトロール」の推進

市民が話しかけやすいよう帽子やワッペン等を身に付けて活動する等、市民が参加しやすい環境を作っていただきたい。将来的に万歩計アプリ等と連携し、活動の見える化等も検討いただきたい。

- ・ごみ拾いイベント「ピックアップチャレンジ」の開催

親子対象のイベント開催時に、市民が行っているゲーム性があり環境教育につながるイベントを開催し、体験することで自主的な開催をサポートができるよう、市で開催していただきたい。

- ・地域の繋がりを認識するための防災に関連するイベントを実施

賞味期限が近い備蓄品の実食や炊き出し体験等を盛り込んだ、出前講座等のイベントを地域ごとに実施いただきたい。災害時におけるフードバンク等の連携等も検討いただきたい。

- ・スケートボードパークの活用

駅前に設置予定であるスケートボードパークを活用して、プロのスケーターを招く等のイベントを開催することでコミュニティの場が広がるため、有効に活用できるよう工夫いただきたい。

- ・LINEによるイベント広報

受け身でも受け取ることができるプッシュ型で情報を届けられる仕組みが有効であるため、市の後援や協賛したイベント等の活動においては、LINE をより多く活用していただきたい。その際に、現状の市のLINE アカウントの認知が低いため、広げるよう工夫していただきたい。